

一般社団法人日本インターナショナル・サポート・プログラム 御中

独立監査人の監査報告書
第10期事業年度
令和3年4月1日－令和4年3月31日

飯塚隆公認会計士税理士事務所
公認会計士 飯塚 隆

独立監査人の監査報告書


令和4年7月29日

一般社団法人日本インターナショナル・サポート・プログラム
代表理事 吉田 真由美 殿

飯塚隆公認会計士事務所

東京都千代田区

公認会計士

飯塚隆 

監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本インターナショナル・サポート・プログラム(以下「法人」という。)の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第十期事業年度の貸借対照表及び損益計算書(公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。以下貸借対照表と合わせて「財務諸表」という。)について任意監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

財務諸表に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の項目が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	2021年度	2020年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,712,883	10,419,086	△ 6,706,203
流動資産合計	3,712,883	10,419,086	△ 6,706,203
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定積立資産	26,785,139	67,179,558	△ 40,394,419
什器備品	29,953	59,905	△ 29,952
特定資産合計	26,815,092	67,239,463	△ 40,424,371
(3) その他固定資産			
保証金	50,760	50,760	0
その他固定資産合計	50,760	50,760	0
固定資産合計	26,865,852	67,290,223	△ 40,424,371
資産合計	30,578,735	77,709,309	△ 47,130,574
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,281,140	230,109	2,051,031
未払費用	417,706		417,706
預り金	253,675	316,968	△ 63,293
1年以内返済予定長期借入金		684,000	△ 684,000
流動負債合計	2,952,521	1,231,077	1,721,444
2. 固定負債			
長期借入金	9,348,000	8,835,000	513,000
役員借入金	1,000,000	1,000,000	0
固定負債合計	10,348,000	9,835,000	513,000
負債合計	13,300,521	11,066,077	2,234,444
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金	16,771,844	67,208,725	△ 50,436,881
指定正味財産合計	16,771,844	67,208,725	△ 50,436,881
(うち基本財産への充当額)		(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(16,771,844)	(67,208,725)	△ 50,436,881
2. 一般正味財産	506,370	△ 565,493	1,071,863
(うち基本財産への充当額)		(0)	0
(うち特定資産への充当額)		(30,738)	△ 30,738
正味財産合計	17,278,214	66,643,232	△ 49,365,018
負債及び正味財産合計	30,578,735	77,709,309	△ 47,130,574

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	2021年度	2020年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取補助金等	54,882,266	28,733,639	26,148,627
受取補助金等振替額	54,882,266	28,733,639	26,148,627
受取寄附金	584,911	419,327	165,584
受取寄附金	584,911	419,327	165,584
雑収益	470,508	2,433,498	△ 1,962,990
雑収益	180,000	2,433,477	△ 2,253,477
受取利息	41	21	20
為替差益	290,467		290,467
経常収益計	55,937,685	31,586,464	24,351,221
(2) 経常費用			
事業費	41,643,510	28,926,844	12,716,666
直接事業費	28,819,454	18,486,842	10,332,612
現地事業管理・運営費	4,371,747	2,592,955	1,778,792
本部事業管理・運営費		6,097,470	△ 6,097,470
支払報酬	4,572,564	536,000	4,036,564
支払手数料		220	△ 220
渡航費	2,889,720	668,000	2,221,720
旅費交通費	975,442	508,653	466,789
減価償却費	14,583	29,167	△ 14,584
通信運搬費		7,537	△ 7,537
管理費	13,128,666	5,709,409	7,419,257
給料手当	10,733,000	2,352,508	8,380,492
法定福利費	1,304,234	1,404,483	△ 100,249
支払報酬		635,500	△ 635,500
支払手数料	60,718	107,874	△ 47,156
旅費交通費		328,865	△ 328,865
減価償却費	15,369	30,737	△ 15,368
消耗品費	121,872	75,496	46,376
会議費	17,480	29,023	△ 11,543
地代家賃	382,800	393,620	△ 10,820
通信運搬費	305,980	166,102	139,878
諸会費	125,000	160,000	△ 35,000
広告宣伝費	21,128	1,791	19,337
租税公課	12,300	5,950	6,350
雑費	28,785	17,460	11,325
経常費用計	54,772,176	34,636,253	20,135,923
当期経常増減額	1,165,509	△ 3,049,789	4,215,298

一般社団法人 日本インターナショナル・サポート・プログラム

科目	2021年度	2020年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
支払利息	49,688	49,694	△ 6
為替差損	43,928		43,928
雑損失	30	617,345	△ 617,315
経常外費用計	93,646	667,039	△ 573,393
当期経常外増減額	△ 93,646	△ 667,039	573,393
当期一般正味財産増減額	1,071,863	△ 3,716,828	4,788,691
一般正味財産期首残高	△ 565,493	3,151,335	△ 3,716,828
一般正味財産期末残高	506,370	△ 565,493	1,071,863
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	6,045,875	50,758,404	△ 44,712,529
受取補助金	6,045,875	50,758,404	△ 44,712,529
返還額	1,600,490		1,600,490
返還額	1,600,490		1,600,490
一般正味財産への振替額	54,882,266	28,733,639	26,148,627
当期指定正味財産増減額	△ 50,436,881	22,024,765	△ 72,461,646
指定正味財産期首残高	67,208,725	45,183,960	22,024,765
指定正味財産期末残高	16,771,844	67,208,725	△ 50,436,881
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	17,278,214	66,643,232	△ 49,365,018

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	場所等	口座番号	使用目的等	金額
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金・預金				
現金	手元保管		運転資金として	3,813
普通預金	普通預金 ゆうちょ銀行	32231821	運転資金として	1,466,210
	普通預金 ゆうちょ銀行	37135201	運転資金として	1,016,325
	普通預金 ゆうちょ銀行	39074201	運転資金として	1,207,043
未収入金	職員に対するもの		返金予定分	19,492
流動資産合計				3,712,883
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
特定積立資産	普通預金 ゆうちょ銀行	37089701	JPFサブタリ事業	29,823
特定積立資産	普通預金 みずほ銀行 仙台支	1061575	JPFチャレンジ枠バングラ	585,895
特定積立資産	普通預金 ゆうちょ銀行	37652451	JPF黒川郡大郷町事業	701,509
特定積立資産	普通預金 ゆうちょ銀行	43226281	GGロビンギャ事業	815,152
特定積立資産	普通預金 ゆうちょ銀行	44610281	庭野平和財団 緊急支援事業	980,000
特定積立資産	Nepal Investment Bank		N連ネパール事業	23,494,333
特定積立資産	現地運営資金		N連ネパール事業	178,427
積立資産				26,785,139
特定資産合計				26,785,139
(2) その他固定資産				
工具器具備品	MacBookAir/2019 管理費			15,369
	MacBookAir/2019 赤い羽根			14,584
差入保証金	㈱エコーラ		事務所賃貸料	50,760
その他固定資産合計				80,713
固定資産合計				26,865,852
資産合計				30,578,735
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	外部監査費		生き百事業 飯塚隆	500,000
	金子梓紀		生き百事業 車両レンタル	20,000
	金子梓紀外1名		生き百事業 謝金	167,600
	THE6		生き百事業 複合機利用料(3月分)	13,540
	外部監査費		チャレンジ枠バングラテナイッシュ 飯塚隆	600,000
	庭野平和財団 立替精算分		庭野平和財団 緊急支援事業	980,000
預り金	源泉所得税		報酬源泉所得税	71,685
	給与源泉所得税		28,130×3月	84,390
	住民税		24,400×3月	97,600
未払費用	社会保険料		2月分	208,610
	社会保険料		3月分	209,096
流動負債合計				2,952,521
2. 固定負債				
長期借入金	日本政策金融公庫		運転資金として	9,348,000
役員借入金	仲田敏宏		運転資金として	1,000,000
固定負債合計				10,348,000
負債合計				13,300,521
正味財産				17,278,214

(このページ余白)